

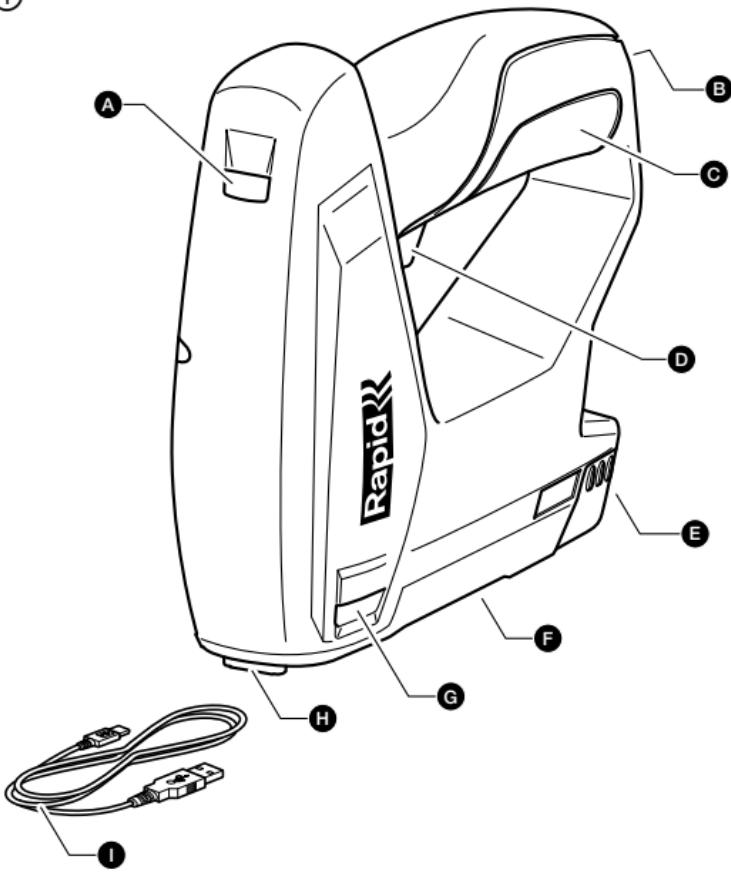
BTX10充電式タッカー

Rapid®

取扱説明書



①



②



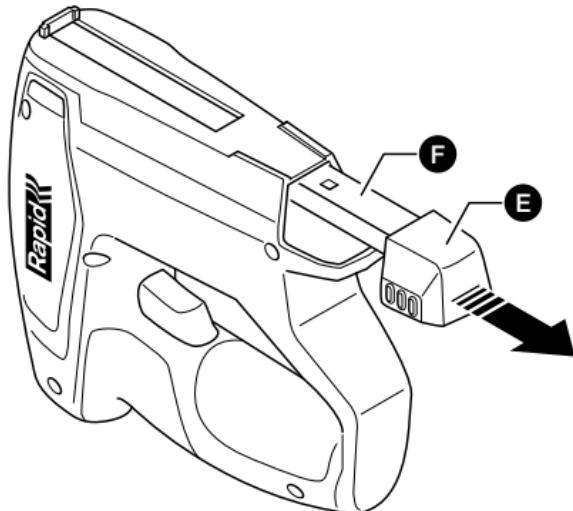
③



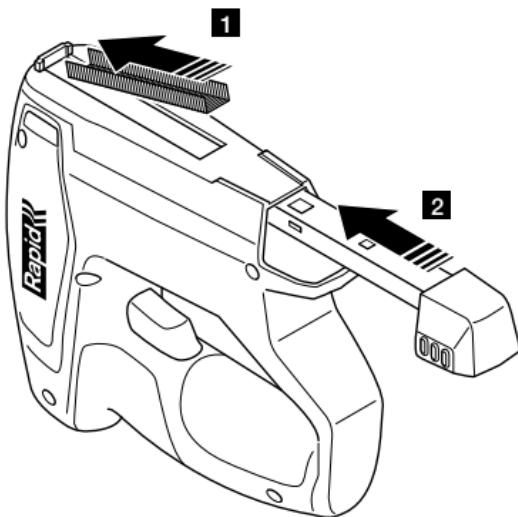
④



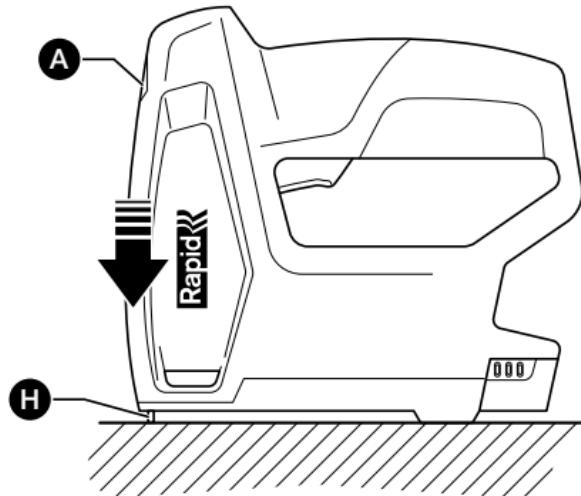
⑤



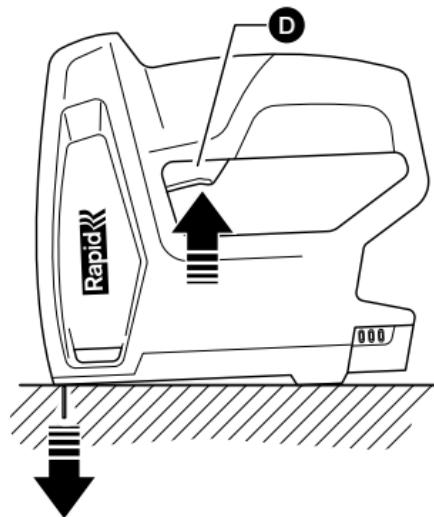
⑥



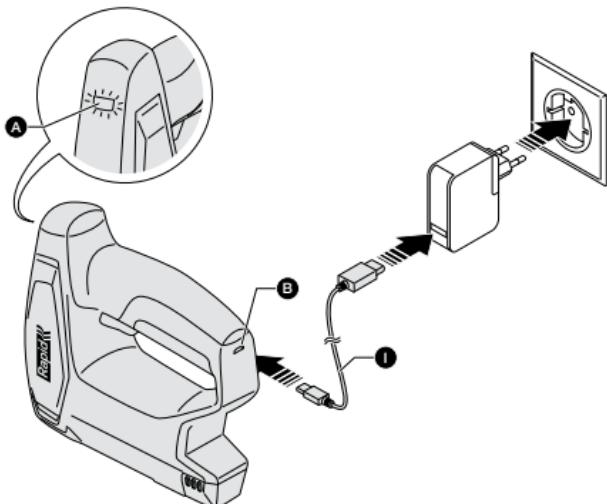
(7)



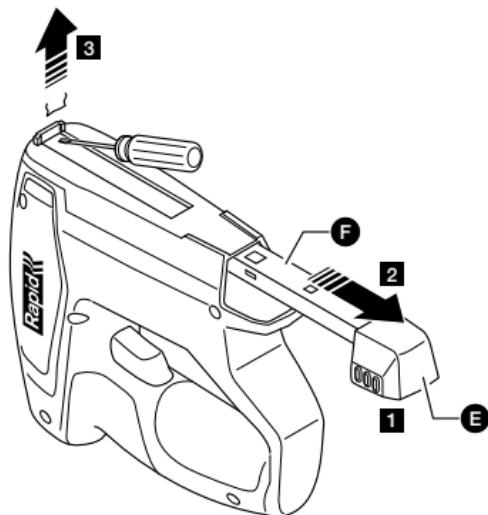
(8)



⑨



⑩



イントロダクション

布、皮革、厚紙、紙などを針葉樹など木材の表面に打ち付けるためのツールです。タッカーは本来の目的にのみ使用してください。このツールは個人使用向けです。

技術仕様書

| | |
|------------------|-----------------------------------|
| バッテリータッcker、品名 | BTX10 |
| 使用ステープル針 | Rapid 53 |
| 使用ステープル長さ | 4-10 mm |
| ステープル最大装填数 | 100本 |
| 工具サイズ | 156 x 58 x 170 mm |
| 質量 | 0.774 kg |
| バッテリータイプ、定格電圧 | Li-Ion, 3.6 V |
| バッテリー容量 | 1300 mAh |
| バッテリー充電器 | 外部Micro-USB充電コード 5VDC最大3.0 A |
| 充電時間 | 約100分 |
| 1回のチャージでの最大打込み回数 | ≈ 900 打込み回数 |
| 均打込み速度 | 20回/分の継続操作または2時間に1回での40回打ち/分を20分間 |

ツール形成部品 ①

- A** LED
- C** 一体型バッテリー
- E** マガジンラッチ
- G** ステープル残量インジケーター
- I** Micro-USB充電コード
- B** Micro-USB端子
- D** トリガー
- F** マガジン
- H** リリース安全装置

電動ツールの一般的安全警告

この電動ツールに付属のすべての安全警告、取扱説明書、図解、および仕様書をお読みください。また以下のすべての指示に従わないと感電、火災、または重大な身体的負傷の原因となる可能性があります。



いつでもご参照いただけるために、すべての警告と説明書を保存してください。

警告における「電動ツール」という用語は、電源コード式の電動ツールまたはバッテリー駆動式の電動ツールを指します。

1) 作業エリアの安全性

- a) 作業エリアを清潔に保ち、十分に明るくしてください。散らかった作業台や暗い場所は事故を引き起こす原因となります。
- b) 可燃性液体、ガス、または粉塵が存在するなど発火性のある環境で電動ツールを操作しないでください。電動ツールが火花を発生させるので粉塵やガスを引火させる可能性があります。
- c) 電動ツール操作中は、子供や見物人などを遠ざけてください。気を取られることで操作を誤ること

があります。

2) 電気安全

- a) 電動ツールのプラグはコンセントに適合している必要があります。プラグをいかなる方法でも改造しないでください。アース付き電動ツールにはアダプタープラグを使用しないでください。改造されていないプラグと適合するコンセントを使用することで、感電のリスクを減らすことができます。
- b) パイプ/配管、ラジエーター、レンジ、冷蔵庫などとの接地表面との身体的接触を避けてください。身体が接地されていると感電リスクが増加します。
- c) 電動ツールを雨や水にさらさないでください。電動ツールに水がかかると、感電リスクが高まります。
- d) コードは、電動ツールを運ぶ、引っ張る、または抜くためなどに使用しないでください。またコードは熱、油、鋭利なエッジや可動部分から遠ざけてください。損傷したり絡まったコードは、感電リスクを高めます。
- e) 屋外で電動ツールを操作する際は、屋外使用に適した延長コードを使用してください。屋外使用に適したコードを使用することで感電リスクを減らすことができます。
- f) 電動ツールを湿気のある場所で使用せざるを得ない場合は、漏電遮断器（RCD）付きの電源を使用してください。RCDを使用することで、感電

リスクを減らすことができます。

3)個人の安全

- a) 電動ツールを操作する際には、常に注意を払い、何をしているのかを確認し、常識を持って行動してください。疲れている時や、薬物、アルコール、または薬の影響下では電動ツールを使用しないでください。電動ツール操作中の一瞬の不注意が、重大な身体的負傷を引き起こす可能性があります。
- b) 身体保護具の使用常に目の保護具を着用し、使用状況に応じ防塵マスク、滑り止めの安全靴、ヘルメット、耳栓などの保護具を使用することで、身体的負傷を減らすことができます。
- c) 不意な起動の防止電源やバッテリーパックに接続する前または工具を持ち上げたり運んだりする前に、スイッチが「オフ」の位置にあることを確認してください。スイッチに指をかけたまま電動ツールを運んだり、スイッチがオンの状態で電動ツールを通電させることは、事故を招く原因となります。
- d) 電動工具をオンにする前に、調整キーやレンチを取り外してください。電動工具の回転部分にレンチやキーが付いたままだと、身体的負傷を引き起こす可能性があります。
- e) 手を伸ばしすぎず、常に適切な足元とバランスを保ってください。これにより予期しない状況でも電動ツールをより良くコントロールすることができます。

- f) 適切な服装をしてください。ゆったりした服やジュエリーは着用しないでください。髪や服は可動部分から遠ざけてください。ゆったりした服、ジュエリー、または長髪は可動部分に巻き込まれる可能性があります。
- g) 粉塵抽出および収集設備への接続用装置が提供されている場合は、それらが接続され、適切に使用されていることを確認してください。粉塵収集装置を使用することで、粉塵による危険を減らすことができます。
- h) ツールを頻繁に使用することで得た慣れから油断してツールの安全原則を無視しないでください。不注意な行動は、ほんの一瞬で重傷を引き起こす可能性があります。

4) 電動工具の使用と手入れ

- a) 電動ツールに負荷をかけず、用途に適した電動ツールを使用してください。適切な電動ツールではその設計された速度で仕事をより良くより安全にこなすことができます。
- b) スイッチでオンとオフを切り替えられない場合は、その電動ツールを使用しないでください。スイッチでオンオフ操作できない電動ツールは危険であり修理が必要です。
- c) 調整を行ったり、アクセサリーを交換したり、電動ツールを収納する前に、電源からプラグを外すか、バッテリーパックが取り外し可能な場合はバッテリーを取り外してください。このような予防的安全対策により、電動ツールの誤起動のリスク

を減らすことができます。

- d) 使用しない電動ツールは子供の手の届かない場所に保管し、電動ツールやこの取扱説明書に不慣れな人に操作させないでください。訓練を受けていないユーザーが電動ツールを使うことは危険です。
- e) 電動ツールとアクセサリーを適切に維持管理してください。可動部分の位置ズレや摩擦、部品の破損、その他電動ツールの動作に影響を与えるリスクの可能性を確認してください。損傷がある場合は、使用前に電動ツールを修理してください。多くの事故は電動ツールへの不十分な手入れによって引き起こされます。
- f) 切削ツールは鋭利且つ清潔に保ってください。適切に手入れされた切削ツールは切れ味が良く、引っかかりにくく、操作がしやすくなります。
- g) 電動ツール、アクセサリー、工具ビットなどは、作業条件や行う作業を考慮し、取扱説明書に従って使用してください。意図しない操作で電動ツールを使用すると、危険な状況を招く可能性があります。
- h) ハンドルや握り部分は乾燥させ、清潔に保ち、油やグリースを付けないでください。ハンドルやグリップ部分が滑りやすい状況では、予期しない状況においてツールの安全なコントロールを失うことがあります。

5) バッテリーツールの使用と手入れ

- a) 製造者指定充電器のみで充電してください。不適

正な充電器と一緒に使用されると、火災のリスクを引き起こす可能性があります。

- b) 電動ツールは指定されたバッテリーパックのみで使用してください。不適正なバッテリーパックを使用すると、怪我や火災リスクを引き起こす可能性があります。
- c) バッテリーパックを使用しないときは、クリップ、コイン、鍵、釘、ネジ、その他の金属製小物など、端子同士を接続する可能性のある金属物から遠ざけて保管してください。バッテリー端子がショートすると、火傷や火災を引き起こす可能性があります。
- d) バッテリーが誤った方法で使用された場合、バッテリーから液体が噴出することがあります。その際には絶対に接触しないようにしてください。万が一接触した場合は、すぐに水で洗い流してください。万一液体が目に入った場合は、医師に診てもらってください。バッテリーから噴出した液体は、刺激や火傷を引き起こす可能性があります。
- e) 損傷したり改造されたバッテリーパックやツールは使用しないでください。損傷したり改造されたバッテリーは予測できない動作を示し、火災、爆発、または怪我のリスクを引き起こす可能性があります。
- f) バッテリーパックやツールを過度の高温にさらさないでください。130°C (265°F) を超える火や温度にさらされると、爆発を引き起こす可能性があります。

g) すべての充電指示に従い、取扱説明書で指定された温度範囲外でバッテリーパックやツールを充電しないでください。適切でない充電や指定された温度範囲外での充電は、バッテリーを損傷させ、火災のリスクを高める可能性があります。

6) サービス

a) 電動ツールは、資格を持った修理専門店にのみ修理を依頼し、純正交換部品を使用してください。これにより、電動工具の安全性が維持されます。

タッカーの安全警告

- ・ ツールには常に留め具(ステープル針など)が含まれていると考えてください。タッカーを不注意に扱うと、予期しない発射や身体的負傷を引き起こす可能性があります。
- ・ いかなる場合にもツールを自分自身や他の方に向けないでください。もしトリガーが誤って押されると、釘が発射され、怪我を引き起こす可能性があります。
- ・ ツールを作業物にしっかりと押し付けるまで、ツールを作動させないでください。ツールが作業物に接触していない場合、ファスナー(ステープル針や釘)がターゲットから逸れる可能性があります。
- ・ 詰まったファスナー(ステープル針や釘)を取り除く際は注意してください。発射機構が圧縮状態にある可能性があり、詰まりを解消しようとすると、ファスナーが強制的に発射されることがあります。

ます。

- このツールを電気ケーブルの固定には使用しないでください。本製品は電気ケーブルの取り付けには設計されておらず、電気ケーブルの絶縁を損傷し、感電や火災の危険を引き起こす可能性があります。

騒音排出/振動

- A加重音圧レベル $L_pA=71.8\text{ dB(A)}$ 、不確かさ $K=3\text{ dB(A)}$ 。
A加重音響パワーレベル $L_wA=82.8\text{ dB(A)}$ 、不確かさ $K=3\text{ dB(A)}$ 。操作の際には聴覚保護具の着用を推奨します。
- 測定振動総値 $=2.447\text{ m/s}^2$ 、誤差 $K=1.5\text{ m/s}^2$
測定振動総値は、標準的な試験方法に従って測定されており、ツール同士の比較に使用できます。
測定振動総値は、ユーザーへの振動初期評価にも使用できます。

警告

電動ツールの実使用中の振動排出量は、ツール使用方法によって記載の測定総振動値と異なる場合があります。

ユーザー保護の安全対策を特定することが必要であり、それは実際の使用時間中にどれだけユーザーに負荷がかかるかの計算に基づいています（ツール停止時間やアイドリング状態での使用など、使用中のすべての部分を考慮してください）。



組み立て

マガジンへのステープル針装填方法

1. 工具を上下逆さまにしてください。
2. マガジンロック **E** を押して、タッカ一本体から解除してください。
3. マガジン **F** を後方にスライドさせてください。⑤
4. ステープル針のストリップ⑥を挿入してください。タイプ53のステープルのみを使用してください。
5. マガジンを閉じて、安全にロックされていることを確認してください。

マガジンからステープル針を取り出す方法。

1. マガジンロック **E** を押して、タッカ一本体から解除してください。
2. マガジン **F** を後方にスライドさせてください。
3. マガジンからステープル針を取り出してください。
4. マガジンを閉じて、安全にロックされていることを確認してください。

工具の操作

工具の作動

1. 工具が良好な状態であることを確認してください。
2. 安全ヨーク **H** を作業物に対してしっかりと押し当て、数ミリメートル⑦押し込んでください。これが完了すると、LED **A** が緑色に点灯し、ツ

ールがアクティブになり、ステープル作業ができる状態になります。

ステーピング

1. 安全ノズル **H** を作業物に対してしっかりと押し当て、数ミリメートル押し込んでください。
2. トリガー **D** を軽く押してください。⑧
3. トリガーを放し、工具を作業物から取り外してください。
4. 再度打つためには、手順1から3を繰り返してください。

アクティブモード/スリープモード

- ・ ツールがアクティブモードのとき、動作がない場合は15秒間そのモードに留まります。
- ・ 15秒間の無動作後、ツールはスリープモードに入ります。その際にはスプリングが圧縮を解放する音が聞こえ、これは正常です。
- ・ 工具を再度起動するには、安全ノズル **H** を押してください。

充電操作説明書 ⑨

充電中はツールを使用しないでください。

1. マイクロUSBケーブル **I** をマイクロUSBポート **B** に接続してください。
2. マイクロUSBケーブルをUSB充電器（別売）に接続してください。
3. USB充電器をコンセントに接続してください。LED **A** は充電中に赤く点滅します。
4. バッテリーが完全に充電されると、LEDが緑に点

灯します。

5. マイクロUSBケーブルを外し、USB充電器をコンセントから取り外してください。
- ! 周囲の環境温度が10°Cから50°Cの間であるときにのみ充電してください。
- ! 充電中に充電器が温かくなることがあります、これは正常です。
- ! 50°Cを超える場所にはツールを保管しないでください。

LEDライトの説明

| 操作／使用 | | |
|---|---|--|
| LED赤 | LED緑 | |
| ○ |  | LEDが継続的に緑：ツールはアクティブで、次のステープル針の準備ができています。 |
|  |  | LEDが赤と緑で交互に点滅：バッテリー残量が少ない／空です。 |
| USB充電器で充電してください。 | | |
| LED赤 | LED緑 | |
|  | ○ | LEDが赤く点滅：バッテリー充電中です。 |
| ○ |  | LEDが継続的に緑：ツールはアクティブで、次のステープル針の準備ができています。バッテリーは完全に充電されています。 |

- ! より良いパフォーマンスのために、ツールを作業物に押し付けてください。

- ! ステープル針インジケーター **G** を通して、ツールに十分な針が残っているか確認してください。
- ! ステープル針が詰まった場合には、説明書メンテナンスページをお読みください。工具損傷の可能性があるため、詰まりを解消するためにツールを再発射しないでください。
- ! 操作中がツールが温かく感じることは正常ですが、ツールが熱く感じ始めた場合は、冷めるまで使用を中止してください。

メンテナンス

スタンダードメンテナンス

1. すべてのネジを点検し、必要に応じて締め直してください。
2. すべての通気口のほこりや汚れを取り除いてください。
3. ツールクリーニングの際には乾いた布または湿った布で拭かれ、決して溶剤は使用しないでください。
4. マガジンチャンネルを清潔に保ってください。
5. 部品にオイルやグリースを塗らないでください。
6. ツールが損傷していないことを確認してください。損傷がある場合は使用前にツールを交換するか修理してください。

詰まったステープル針を取り除く **⑩**

1. マガジンロック **E** を押して、タッカ一本体から外してください。

2. マガジン **F** を後ろにスライドさせてください。
3. マガジンから詰まったステープル針を取り出してください。
4. 先の鋭いピンなどを使って、詰まったホッチキスの針を取り除いてください。

警告

ツールの変更および技術的な改造は許可されていません。怪我をする可能性がありますので絶対にしないでください。



製造および試験手順において十分な注意を払って製造されたにもかかわらず、ツールに不具合が生じた場合の修理はRapid工具のアフターサービスセンターで行ってください。

ツールを廃棄される際は、お住まいの地域の地方自治体の規制などに従ってください。





Isaberg Rapid AB
335 71 Hestra, Sweden
www.rapid.com